

現状について（学校から）

1 児童のようす

- (1) 家庭での生活が不規則になっている。中には、ゲーム漬けになっている子どもがいる。
- (2) 昼食はカップめん、レトルト食品という子が多く、栄養面での不安がある。
- (3) 子どもだけで留守番している家庭が多くあり、長期化すると安全面での不安が残る。
- (4) 児童クラブで小学校に来ている子どもたちは、感染症対策を配慮しつつ、校庭・体育館で身体を動かしているが、家にいる多くの子どもたちは、指導に従って、外で遊ぶことを我慢しているので、本人や家族にとっても大きなストレスを生んでいる。
- (5) 家から出られない状態が続いており、運動不足の子が多い。発達障害のある児童などはストレスがたまり、家庭での生活状態も落ち着きがなくなってきている。
- (6) 家庭学習を、一人で行うには限界がある子どもがいる。とりわけ、支援が必要な子どもたちには、内容、進め方等、適切な「かかわり」を必要としている。

2 その他

- (1) 現在一時預かりで多数の児童が学校に来ている状況がある。（市内某小学校一時預かり全校生の約16％）自習、読書、ビデオ鑑賞、自由遊び等、時間割を決め実施し、教職員もローテーションを組み見守り等を続けてきている。人数がすくないとはいえ、通常の学校とかわらない状況である。
- (2) 現在学童児童の受け入れを行っている。指導者数との関係で一グループ30名程度の集団を作っているが、この状態は通常の状態と変わらず、感染リスクから言えば、軽減されているとは言い難い。学童保育においても同様である。
- (3) 祖父母宅等に預けられている子どもたちもあり、長期化すると対応が難しくなる。